



ほその村で2月に開催した「メープルサップ採取体験」。市外参加者との交流が定住にもつながっている。



二ツ森ゆう大学夏のイベント「川遊び」。地元を流れる丹生川で大自然を体験!



毎年2月に行っている「中刈キャンドルロード」(雪まつり)。中刈のキャラクター「おきな兄妹」がお出迎え。



10月10日に開催した「ありがとう! かかし君感謝祭」。西原公民館隣のグラウンドゴルフ場に53体のかかしが集結!

来年、観光わらび園をオープンする予定です。こうした収益を地域に還元できるような地域づくりを考えています。細野では交流人口が増えています。ですが、住民から「泊まる場所がないね。」との声が出ています。また、今後かなりの世帯が高齢化し、運転できない人も出てくると思います。地元の人たちの集いの場とゲストハウスの機能も備えた、集落の中で仲良く助



開催することが大事です。少子化の中で、子どもたちのやりたいこととすれっていると、この組織も自然消滅してしまうのではと危機感を持っています。子どもや保護者が参加して良かったと思ってもらえる組織にしていきたいと考えています。

もう一つは、昨年から玉野小学校と合同で開催している全校芋煮会です。地域と学校とが役割を分担しながら、先生方と交流することで、地域の人も子どもたちも、だんだん心が開いてくるようになり、お互いに理解が深まって非常に有意義でした。ゆう大学は19年の歴史があり、地域の中で定着している活動ですが、各家庭から協力をいただきた活動資金に充てていますので、地域の理解がないとできません。家庭から児童を参加させてもらっていることが、地域の理解が得られている効果だと思っています。

「五十嵐」一番は、お母さんたちが元気に、明るくなったことです。活動での収益を「孫の小遣い」ができた」と喜んでいますが、細野は移住者も多いのですが、「何か足りないものはないか?」と聞いて、無いものはすぐ届けたり、地域イベントに参加してもらつように声がけしたりしながら、地域の一員として一緒に生活できるように心がけています。

皆さんの熱く、前向きな思いを聞いて、市長はどう感じましたか? (市長) 尾花沢市の魅力を、それぞれの地域の人がしっかりと考えていると心強く感じました。家族の中で会話が生まれる、今一番必要なのはそこなのではないかと思っています。一つのイベントを同じ目線で盛り上げられることも大事です。これをできないと言つのではなく、地域皆で意見を出し合い、どうやったらやれるのかを考える、これは市



け合いながら暮らしていける新しいスタイルの共同住宅を建てるのもいいのではと考えています。



今後の抱負、夢、目標は? (菅野) 皆さんの団体が地域になくてはならない活動をしていると痛感しました。今後さらに発展させて、地域の元気が市外へ、さらには全国へ発信していけたら素晴らしいと思います。最後に、夢や目標、今後の抱負などをお聞かせください。 (溝越) かかしの取り組みはぜひ来年もやっていきたいです。かかしによる地域づくりのきっかけとなった、畑作業中の本物そっくりなかかし」のモデルのおばあちゃんも、来年もまた作りたいと張り切っているようです。ユニークで、リアルで、誰でも笑顔になれるようなかかしができることを期待しています。秋の感謝祭も、来年こそは地区民みんなが参加できるように企画したいと思っています。

(菅野) 皆さんの地域での取り組みなどを聞き、尾花沢には資源がたくさんあり、住民の皆が協力する姿を知ることができました。地域の力が今後、尾花沢市全体をいきいきと輝かせ、さらなる発展を遂げる「要」になると感じています。今日は大変ありがとうございました。

全体にも広めていきたいですね。また、子どもたちに尾花沢の良さ、楽しさを伝え、地域の中で生活に必要な知識を教える活動も大切なことです。地域が元気を出すには、女性の笑顔を増やすことも大事だと思います。どんなイベントにもお子さんを連れて参加しやすい雰囲気があるといいですね。皆さんが楽しみながらやっている活動が、尾花沢全体に広がってくればと思います。こうした活動が継続できるよう、市でもお手伝いしていきたいと思っています。とても参考になりました。ありがとうございます。

(高橋) スタッフが年々高齢化してきていますので、次の世代から新たなスタッフを育成・確保しながら、活動を継続していきたいです。そのためにも、子どもたちが魅力を感じる行事を



(大貫) 中刈のお母さんたちは、細野の「農家レストラン蔵」のような施設が中刈にも欲しいと言っていて、空き家を利用したシェアハウスのようなものをつくりたいと考えています。昨年、庄内町の「クラッセ」を視察してきたのですが、施設内でお菓子を作ったり、菊芋を煎じてお茶にしたりして売っていました。そういう農産物の加工施設をつくり、自分たちで作ったものを販売するのが夢なんです。